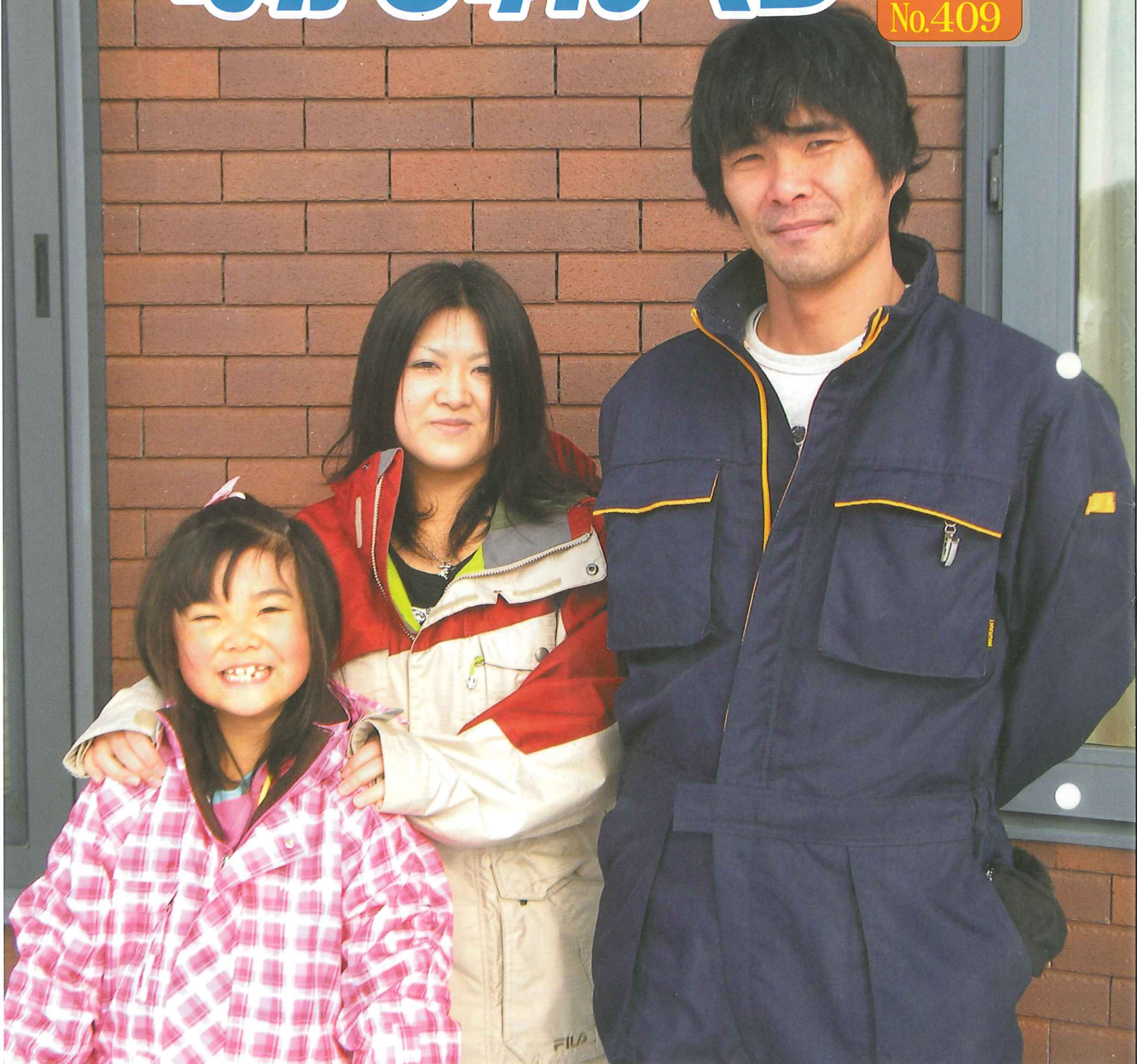


なかしゅんべつ

2012

2

No.409



目次

みらい塾…………… 2~4	別海高校だより…………… 10~11
根室地区青協幹部研修会 … 5	生乳課情報…………… 12
生活クラブと生協連合会意見交換会… 6	ミルククッキング…………… 13
わが家のアイドル…………… 8	理事会の動き…………… 14
営農対策情報…………… 9	楽しい家族と一緒に…………… 16

寒いところでも元気いっぱい!!外遊びが大好きな中村家の望愛ちゃんを取
材致しました。

第3期みらい塾修了式

1月13日(金)、平成23年度みらい塾修了式と平成24年度みらい塾入講式が農業者団地センターで行われました。

担い手後継者を対象とし、6人の受講生により1年間、今回、修了となる第3期は、全22回にわたって講座を



第3期みらい塾 修了生紹介



片岡 卓也



伊藤 孝彦



奥山 明範



芳賀 守



竹林 政志



畠山 純一

スタート地点に立ち、これからの酪農経営に努めていきます

施し、農協運営事業をはじめ酪農技術や機械修理、また視察を通して経営管理について学んできました。

関係機関との繋がりを目的とし根釧農業試験場、根室農業改良普及センター、北海道酪農検定検査協会根室事業所、ジェネテイクス北海道道東事業所、雪印乳業なかしべつ工場、根室地区農業共済組合中春別家畜診療所をメインに講師を依頼し、講座や現地研修を行いました。

当日は、お世話になった

関係機関の方々のご臨席の中、1年間の講義を終えた6人の修了生は小湊保塾長より修了証書を受け取りました。

塾長からは「講師となっていたいただいた関係機関の皆様には、改めて厚く御礼申し上げます。今後、経営者になっていく皆様には、ここで1年間学んだ事を経営に取り入れて、10年後、20年後に活躍できるように頑張っていたください」と挨拶をいただき、続いて根室改良普及センター田中所長

より「365日、毎日が勉強です。このみらい塾で学んだことを今後の経営の中で生かして自分のものにしていくって欲しい」とお祝いの言葉をいただきました。

修了生を代表して豊原地区の伊藤孝彦さんから、「みらい塾全22回の講座の中で酪農知識など様々なことを学びました。ここが僕たちのスタート地点だということを肝に命じて、今後の酪農経営に努めていきたいです」と力強い挨拶がありました。

酪農を通して出合いを大切に 仲間づくりをしていきたい



第3期みらい塾修了式終了後、平成24年度みらい塾の入講式が行われ、新たに第4期生として学ぶ5人が紹介されました。塾長より式辞と北海道酪農検定検査協会根室事業所大塚所長より激励の言葉をいただき、第4期生を代表して中春別地区の藤原寛史さんより、「出合いを大切にし、酪農を通じて仲間づくりをしていきたいです。また、これからお世話になるJAや関係機関の皆様への感謝の気持ちを忘

れずに酪農経営を行ってきたいです」と、これからの意気込みを語っていただきました。

その後、第4期生は昼食を挟み、団地センター研修室にてオリエンテーション

を行い、友貞宮農生産部長から受講に当たっての心構えや年間の講座内容について説明を受けました。第4期生代表に入講式でも挨拶をいただいた藤原寛史さんが決定しました。



第4期みらい塾生ご紹介

- ①名前
- ②生年月日
- ③みらい塾に応募したキツカケ
- ④趣味
- ⑤好きな言葉
- ⑥将来の夢
- ⑦みなさんに一言



【豊原地区】

①吉川 竜一(23歳)

(よしかわ りゅういち)

吉川光彦氏後継者

- ②昭和63年9月6日
- ③農協の仕組みや酪農の基礎を学ぶため
- ④DVD鑑賞
- ⑤日々是新(ひびこれあらたなり)
- ⑥良い旦那さんになる。
- ⑦一生懸命、勉強に励みます。



【中春別地区】

①柿本 竜矢(24歳)

(かきもと たつや)

柿本鶴雄氏後継者

- ②昭和63年1月7日
- ③農協の仕組みや酪農の基礎を学びたいと思い、みらい塾に応募しました。
- ④車、バイク、スノーボード
- ⑤自由
- ⑥立派な人間になる。
- ⑦一生懸命頑張るので、よろしくお願いします。



【中春別地区】

①小貫 功(23歳)

(おぬき つとむ)

小貫信夫氏後継者

- ②昭和63年8月21日
- ③農業の知識をつけるため
- ④読書、ラグビー
- ⑤一石二鳥
- ⑥幸せな家庭
- ⑦頑張りますので、よろしくお願いします。



【中春別地区】

①根本勇作(22歳)

(ねもと ゆうさく)

根本春男氏後継者

- ②平成2年3月1日
- ③まだ酪農についての知識が足りないと思うので、もう少し知識をつけようと思って応募しました。
- ④ダーツ、麻雀
- ⑤「継続は力なり」
- ⑥嫁さんを見つける
- ⑦頑張ります。



【中春別地区】

①藤原 寛史(31歳)

(ふじわら ひろちか)

藤原義輝氏後継者

- ②昭和55年5月6日
- ③農協の方からお誘いを受け、色々なことに挑戦したくて応募しました。
- ④読書、ドライブ
- ⑤過去の失敗は、取り返すことができないから忘れることができる。
- ⑥家族全員元気に過ごし、安定した経営を目指す。
- ⑦まだまだわからないことだらけですが、何事にも積極的に参加していきたいと思えます。よろしくお願致します。

TPP関連や身近な諸問題を訴える

根室地区青協幹部研修会

今回の根室地区青協幹部研修会は1月17、19日の2泊3日の日程で行われました。



初日は農林水産省の原田課長をはじめとするいずれも酪農業の関連事業に精通した方々で、予定していた2時間を超える内容で有意義な意見交換会でした。内容は基盤整備事業の拡大や、TPP関連の問題、酪農ヘルパー事業の継続など、身近に起こっている問題を訴えることができました。

その夜は懇親会が開催され、今の若手経営者の現状、TPP問題に対する不安、今後の営農展開についてお酒を酌み交わしながら熱く語らうことができました。

2日目は朝から福島に移動し、18、19日に開催された東北・北海道地区JA青年大会に参加しました。東北6県、北海道の参加者を見ていても、根室管内がいかに酪農業に特化した地域であるかを改めて感じました。青年の主張、実績発表はやはり東北大震災関連のものが多く、特に岩手、宮城の発表には胸を打たれる内容でした。震災をうけ、地域の復興と農業を盛り上げていくという気持ちで前面に押し出され、すばらしいもの

東北大震災後の農業の現状と苦悩。それを乗り越えていこうという人達

でした。

また、その中で北海道を代表して根室管内の計根別農協青年部が7年に亘るお歳暮ギフトの実績発表で最優秀賞を獲得でき、とても心に残る有意義な大会でした。

その後、懇親会が開かれ、東北の青年部の方々がどのよう

に営農しているか、また最近の情勢など情報交換をすることができました。中には震災とその後津波により畑が冠水し、仕事ができなくなっ

てしまった人や、親戚を亡くしてしまった人などい

きました。

まだ青年部に入り3年目ですが根室管内の幹部研修は身になる内容がとて多く、また他農協青年部の幹



部の方ともいろいろお話が

でき良い研修となりました。

(久保 光大)

生産者・消費者女性同士の 立場でうちとけた意見交換 ができました

中春別酪農対策協議会(望月英彦会長)では11月29日、生産者と消費者との交流事業の一環として、女性常任委員会を中心に、チクレン牛肉及びべっかいバター販売で取引のある生活クラブ生協連合会との意見交換会を実施いたしました。



当日は生活クラブ連合で取

り扱う消費財の決定機関である連合消費委員会開催に併せ、全国の単位生協代表者の方々と、生産現場の実態と消費者が求める乳製品について意見を交えました。

各自自己紹介の後、消費者代表の方々から、北海道の消

費財は大自然の中で育った牛・牛乳で作られた乳製品は、安心で安全であるという印象を強く持つており、特にべっかいバターの信頼度もあり、べっかい乳業興社乳製品(特にチーズ)の購入を強く望んでいました。

また、産乳を求めて改良してきたホルスタイン種を採算性の面から重要なものと理解しているが、一方でブラウンスイス種に強い関心があり、ブラウンスイス牛乳による乳製品の開発を是非実施してほしいとの意見もありました。

参加者からは、連合消費委員会は月1回開催され、数々の消費財が委員の度重なる試食により吟味され、



良質乳を生産し「安心・安全」をお届け

と感じながらも、「べっかいの乳製品」を高く評価しており、チーズ詰合せ、ブラウンスイス生乳を使った乳製品の開発など、今後販路拡大が期待できると思いました。

また、女性同士であるため打ち解けた会話になり、生産者・消費者双方の立場



で意見交換できた事は大変意義があったと思います。

参加者

伊藤一吉酪対副会長、畠山友子・齋藤道子・浮川優子各常任委員 事務局友貞

今回の意見交換を踏まえ生活クラブ連合組合員は、北海道の酪農は気象条件及び搾乳作業など厳しい条件の中で営農している

カタログ販売に至るまでの道のりの厳しさを実感するとともに、当地区に対する「信頼感・期待感」の高さを感じながら、今後良質乳生産に向け日々努力をおし、まず、自信を持つて「安心・安全」を届け続けていかなければならないと感じていました。

新年を迎え、新たな気持ちで再出発!!

毎年行われています青年部新年会を1月13日(金)北平系会館にて、農協より小湊組合長をはじめとする多くの来賓の方々、中春別酪農対策協議会より望月英彦会長のご出席をいただき、盛大に開催いたしました。

開催にあたり金子青年部長、小湊組合長より新年のあいさつを頂き、望月会長の「乾杯」の音頭とともに開会いたしました。

乾杯と共に食事を楽しみながら、新年初顔合わせの部員同士やご出席いただいた来賓との話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気でした。大人数での開催となり、時間がアツという間に過ぎてしまい、閉会するのが忍びない状況でしたが、兼松副部長のあいさつをもって、今年



長は、昨年部員の事業参加率が高く、活発な事業展開が行われてきましたが、今年も去年に負けないように部員一同力を合わせ、頑張っていきたいと思います。



今年も健康で笑顔が絶えないことを祈って



毎年恒例となっています女性部新年交流会が1月18日(水)、別海町ポリシエにて開催され、部員16人が出席されました。

「今年もよろしくお願いします!」と部員同士新年のあいさつを交わし、乾杯の合図で始まった新年会。来賓には小湊組合長、大山常務、酪農対策協議会・望月会長が出席し、部員とともにテーブルに並ぶごちそうを食べ、話に花を咲かせていました。ゲーム大会では司会者の進行で重量当てゲームや5円巻きゲーム、ビンゴで大賑わい。時間いっぱい楽しい時間を過ごし、終始笑いが絶えない新年会となりました。今年も寒さを乗り切り、笑顔で過ごせる1年になるといいですね。参加された皆さんお疲れ様でした。

わが家のアイドル

お父さん手作りの雪の滑り台で遊ぶのが大好き

今月のアイドルは豊原地区の中村さんのお宅を訪問しました。

豊原地区
父・中村 貞志さん
母・中村 智子さん
長女・中村 望愛ちゃん(6歳)



家につくと、望愛ちゃんはお父さんと外で遊んでいる最中でした。あいさつを

「お話聞かせてもらってもいいですか?」と聞くと「うん。いいよ!」と家の中で案内して頂きました。去年の4月に小学校に

入学した望愛ちゃんに「学校では何をしている時がたのしいですか?」と質問すると「学校の外にある山の上でおままごとをするよ」と、いつも遊んでいるお友達のことを話してくれました。「スケー

トも教えてもらって上手にすべれるようになったんだよ。」と寒いところでも元気がいっぱい。外遊びが好きな望愛ちゃんは家にいる時もよく外で遊んでいます。「外にある雪山はお父さんが作ったの。山の裏にも望愛のお家があるんだよ!」と自慢のお家を案内してもらおうと雪の壁で作られたお家がありました。山にはかまくらや階段がきちんとついていて滑り台はつるつるで望愛ちゃんはいつもこのお気に入りの滑り台であそんでいます。

「学校から帰るとまず宿題をします」と、たくさん遊びますがその分勉強も頑張っていて「得意ではないけれど今は算数を頑張っているよ」と教えてくれました。宿題をした後には、ゲームをしたり外で遊んだり、4歳のころから習っているというピアノを弾いたりして過ごしています。家族では毎年どこかへ旅行に行くのが決まりで去年はトママへ行き、「夏休みにプールに行ったのが楽しかった!」と大好きなお父さんお母さんとの思い出を振り返っていました。

最後に望愛ちゃんの名前の意味お聞きすると智子さんがハワイの言葉で「海」という意味の「モアナ」とつけ、貞志さんが漢字を考えました。「人の気持ちかわかる心の広い人になってほしい。」と両親の思いで大切に育てられ、「将来は保育園や学校の先生とスケート選手とアイドルになりたい!」とたくさんの夢を見る女の子でした。当日は取材のご協力ありがとうございました。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

滑り止め対策で牛の肢蹄を守ろう!



図1 牛の体重を支える面積が小さいので滑りやすい

1 滑り止め資材の散布

牛がすべりやすい場所に、次のような資材を散布します。

まもなく春を感じる季節になります。しかし、気を抜かず、牛の足元の管理に今一度目を向けてみませんか。

牛の足元を守ることは、牛の行動制約の緩和と事故防止に役立ちます。

牛の体重約650kgは、はがき4枚分の蹄面積で支えられています(図1)。このわずかな面積で凍結面を歩行すると、踏ん張りがきかず大変危険です。

以下の事項を参考に対策を取り組みましょう。

【散布資材】

焼き砂・おがくず・貝殻・粒状タンカルなど(各農協資材課などにご確認ください)。

【散布方法】

散布資材の置き場を工夫し、継続的に取り組む必要があります。

毎朝夕、通路と出入り口に散粒機(図2)などでサツと散布します。み(箕)や手押し石炭散布機を活用している事例もあります。



図2 散粒機(上写真)と箕(下写真)

2 施設の改修による対策

敷料を通路に敷く場合は、乳牛が床で寝ない程度の量に留め、除糞後に敷きます。

既存施設でも施工可能な方法があり、施工事例が増



図3 フロントローダーに取り付けた歯で目地切りした事例

えつつあります。

(1) 目地きり
十分な深さではありませんが、コンクリートの床面に新たな目地を作ることができます(図3)。

工法により、施工時間や仕上がりには違いがありますので、事前に確認が必要です。

(2) 通路用マットの設置
ホールディングエリアやリターン通路、横断通路に通路用マットを設置します(図4)。マットを牛が踏むことで氷が割れやすくなります。また、年間を通し

て、蹄への負荷軽減につながります。



図4 通路用マットの施工例

(3) ヒーターの活用
リターン通路につり下げヒーターを設置し、凍結面を減らすことで、氷を取りやすくします。

3 その他の滑り止め対策

管理面からも工夫が必要です。

- ・前産で股さきなどの経験牛は、分娩後の移動前に脚バンドをしておく
- ・牛群の移動は、雪が降って凍結面が十分隠れたタイミングを見計らって行う
- ・牛の歩行に支障が出ると、事故リスクが高まるので、蹄病は早めに治療する

草作業、子牛の哺乳、パドックの区分けなどを行いました。昼食を摂り休憩時間を挟んで15時から午後の搾乳を始めました。

午後の搾乳はマネージャーと私の二人で行いました。

一日の仕事は大体6時頃には終了し、その後は夕食、自由時間となりました。



作業の様子

④ 余暇・休日

仕事が終わった後の余暇は色々な話をしたり、サッカーゲームやビリヤードをしたりして過ごしました。

私が入った農場では休日はほとんどなく、ほぼ毎日仕事をしていました。たまに作業が一段落している時は午後の搾乳が始まる前にケンブリッジに出かけ、買い物をしたりしました。

また、近隣の観光地へ行きたいと希望した時は、朝の仕事を終わらせて、マーカスさんの息子と一緒に観光をしてきました。



観光地の様子

研修を終えて

今回の研修に参加する前は色々と不安に思うことがたくさんありましたが、始めてみると不安に思っていたことが些細なことにしか過ぎないことがわかりました。その中でも語学の面で私は英語が得意ではなく、コミュニケーションが上手くとれるのかどうか心配でしたが、NZで生活していると英語にも慣れ、難しいと思っていたことが実は簡単なことだということがわかりました。

今、日本の農業はTPPの問題で大きく揺れており、農業大国であるNZは日本から見ると脅威として映ることでしょう。特に酪農分野では自給飼料を主とした低コスト型の経営は学ぶことが多いのではないかと思います。中でも放牧や草地のマネージメント、牛群の管理、経営方針や雇用形態などは大いに参考になりました。これらの知識を活用し、これからの日本の風土にあった酪農経営を考えていきたいと思えます。

最後に、今回の研修にご支援ご協力いただいた皆様にこの場を借りて心からお礼を申し上げます。

【文責：寺内まどか】

●【経営科】区分：環境で優秀賞!

1月19日(木)、20日(金)、東北北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会が音更町文化センターで行われ、4発表が、本校代表として出場してきました。

各班ともに冬休み返上で、提出資料の作成・整理や発表練習を行ってきましたが、入賞は区分：環境に出場した小熊俊博(3D)君の1発表のみとなりました。

入賞した小熊君は、2月2日(木)、3日(金)に洞爺サンパレス(壮瞥町)で行われる全道実績発表大会に出場してきます。

なお、今大会で発表した内容については、2月25日(土)にマルチメディア館で、町民向けの報告会を実施する予定です。(カッコ内は学年)

【区分：食料・生産】 出場

共進会の参加を通して学ぶ乳牛の改良

伊藤真幸(3)畑中真治(3)細谷晶大(3)佐々木幹基(2)

【区分：環境】 優秀賞 → 全道大会へ

大型酪農経営地帯における環境負荷低減技術の確立を目指して

小熊俊博(3)上神大地(3)小川賢悟(3)丹羽広和(2)

【区分：文化・生活】 出場

自産自消part3～私たちの食育教室、

今年はベジタベアー交流会～

鈴木英里佳(3)佐藤秋乃(3)宮西真人(2)小野寺志保(2)

【区分：クラブ発表】 出場

個性輝く別高農ク!!～今こそ広がれ活動の輪～

森南穂(2)水本恵(1)泉秀法(2)畠山政貴(1)

●【経営科】現在の進路状況

新年を迎え、卒業も近づいてきました。3年生の進路は、16名中14名が合格・内定を得ており、順調に決まっています(2名が受験中)。

中でも、小熊俊博君が帯広畜産大学へ推薦入学での合格を果たし、酪農経営科2人目の快挙となっています。詳細は、次のとおりです(1月23日現在)。

【大学】

帯広畜産大学(畜産学部)

【専門学校】

北海道立農業大学校(畜産経営学科) 3名

日本工学院北海道専門学校(自動車整備科)

釧路専門学校(介護環境科)

北海道芸術デザイン専門学校(マルチメディアデザイン学科)

札幌工科専門学校(環境緑地工学科)

【就職】

北海道エネルギー株式会社

石塚建設株式会社

株式会社別海清掃センター

別海厚生企業すずらん

家業後継(酪農) 2名

【文責：藤井 隆史】

北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

●ニュージーランド研修から 帰国しました。

【専攻科】

平成23年9月30日～12月5日までの67日間、中春別の佐々木克典君がニュージーランド研修(以下NZ)に参加しました。以下はその報告です。

ファームステイ

私のファームステイは、NZで4番目に大きな都市であるハミルトンから車で20分ほど行ったところのケンブリッジという町の郊外にあるマ



ケンブリッジの様子

ーカスさんのお宅にお世話になりました。

NZには多くの活火山・死火山が存在し、その影響もあり勾配が急で、山と山の間を縫う様に酪農が行われています。このケンブリッジ周辺も同様に山岳地を利用して酪農や牧羊を行っています。

① 家族

家族構成はオーナー兼シェアミルクラーのマーカスさんのみで、他にも息子さんが二人いますが、どちらも独立しています。家には犬、猫、豚がおり、犬は牛追いのために飼っていました。牧場はマーカスさんとファームマネージャーのショーンさんで行っており、どちらかが休みのときは搾乳パートタイマーのジェフさんが働きに来てました。

② 経営概況

経営面積127ha。土地は全て放牧地兼採草地として使われており、56のパドックに分けられています。搾乳牛は約360頭、育成牛が約156頭、NZでは中規模の農家の部類に入ります。

NZではシェアミルクラー制度があり、マーカスさんは自分の牧場と隣の牧場のシェアミルクラーとして働いていました。



放牧の様子

牛はフリージアン種(ホルスタイン種)とジャージー種、二つを掛け合わせたクロスのみを飼養していました。

飼養形態としては常時放牧を行っており、草や牛の状態に応じてコーン、PKEといったサプリメントを給与していました。

牛群は体格の大小で2つ、足の悪い牛や乳房炎

に罹患した牛で1つの計3つの群に分けられています。

乳房炎牛は非常に少なく搾乳牛360頭の内1～2頭がたまに罹患する程度でした。乳房炎の治療方法は日本と同様に該当箇所



給与飼料の様子

にペニシリンを乳頭口から注入していました。治療牛の牛乳は子牛の哺乳時期には生乳のまま、あるいは発酵乳にして子牛に給与していました。

子牛はパドックに放し、哺乳とコーン、PKEといった飼料を与えていました。生後4ヶ月で預託し、種付け後に自分の農場へ戻ってきます。まき牛はフリージアン種1頭持っていました。普段は家の近くのパドックで放し飼いをしており、自然交配をする時だけ雌牛に混ぜていました。NZの牛は日本の牛よりも小さく、成牛で日本の育成牛程度の大きさでした。

1日の平均乳量は全体でピーク時、約7,000kgほどでした。NZでは乳価が乳固形分で乳価の取引がなされているため乳量よりも乳脂肪、乳タンパクを重要視していました。乳脂肪は平均5%、乳タンパクは平均3.8%程度でした。



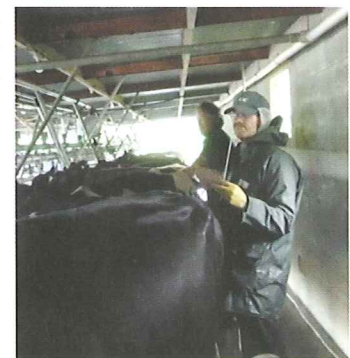
搾乳の様子

搾乳施設は片側30頭を収容出来る施設で、ミルクラーはヘリングボーン式のスイングパーラーでした。

私がファームステイに入った時は、牛の種付けが最盛期を迎えており、毎朝の搾乳中に発情の発見をし、搾乳後に人工授精師による人工授精が行われました。発情兆候が見られない牛にはCIDERを使用していました。

③ 実習内容

朝の仕事として搾乳、人工授精、牛舎内清掃、削蹄をしました。搾乳は5時から始まり、マーカスさんとマネージャーの2人で搾乳作業をし、私は搾乳後の牛舎内を清掃した後、人工授精、削蹄の手伝いをしました。その後朝食と休憩を挟み、11時から搾乳牛に給与するサプリメントの準備、パドック内の除



人工授精の様子



平成24年1月31日現在

生乳課情報

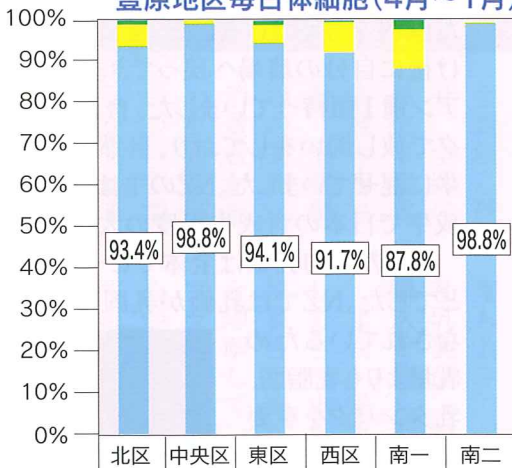
生乳汚染事故を無くそう!

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 1件 管内では 8件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件です。
管内では 0件です。

舎内やフリーバーンの床や、空気の状態はどうか？

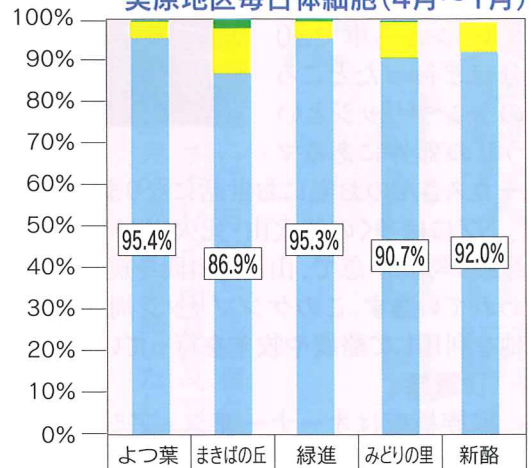
こまめな除糞や、舎内の空気の管理で牛のストレスをやわらげましょう

豊原地区毎日々体細胞(4月～1月)



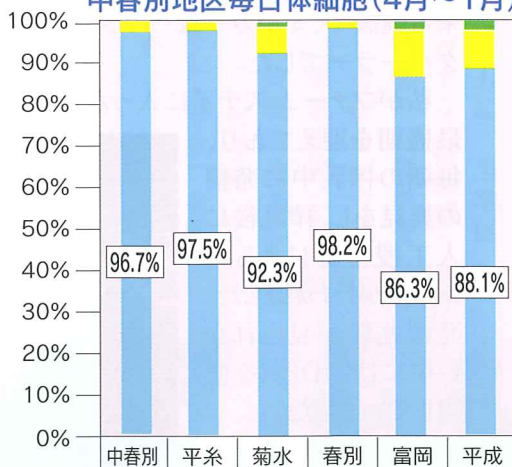
50.5万以上	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%
40.5~50.4	1.0%	0.1%	1.0%	1.1%	2.7%	0.1%
30.5~40.4	5.3%	1.0%	4.7%	7.0%	9.3%	1.1%
30.4万以下	93.4%	98.8%	94.1%	91.7%	87.8%	98.8%

美原地区毎日々体細胞(4月～1月)



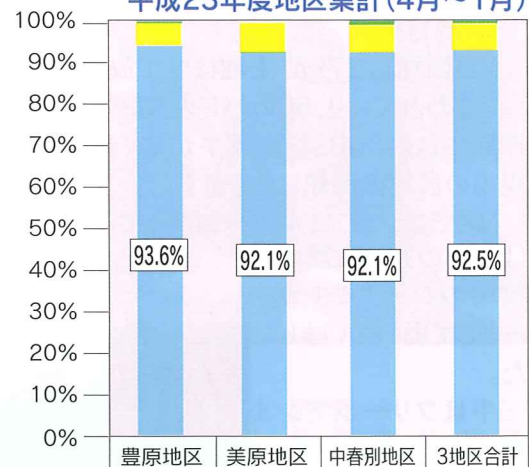
50.5万以上	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
40.5~50.4	0.6%	2.2%	0.7%	0.6%	0.9%
30.5~40.4	3.8%	10.7%	3.8%	8.7%	7.1%
30.4万以下	95.4%	86.9%	95.3%	90.7%	92.0%

中春別地区毎日々体細胞(4月～1月)

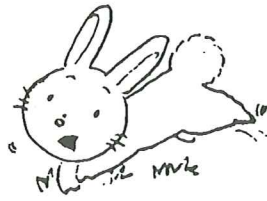


50.5万以上	0.0%	0.1%	0.3%	0.1%	0.4%	0.5%
40.5~50.4	0.5%	0.3%	1.3%	0.0%	2.3%	2.2%
30.5~40.4	2.8%	2.1%	6.1%	1.7%	11.0%	9.2%
30.4万以下	96.7%	97.5%	92.3%	98.2%	86.3%	88.1%

平成23年度地区集計(4月～1月)



50.5万以上	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
40.5~50.4	1.1%	0.9%	1.3%	1.1%
30.5~40.4	5.1%	6.9%	6.3%	6.2%
30.4万以下	93.6%	92.1%	92.1%	92.5%



ミルクおから

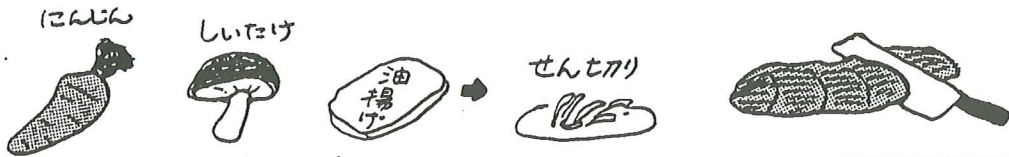
4人分

おから ----- 250g
 鶏肉 ----- 50g
 にんじん ----- 1/5本
 油揚げ ----- 1/2枚

しいたけ ----- 1本
 牛乳 ----- 300cc
 正油 ----- 大さじ 2
 砂糖 ----- 大さじ 1

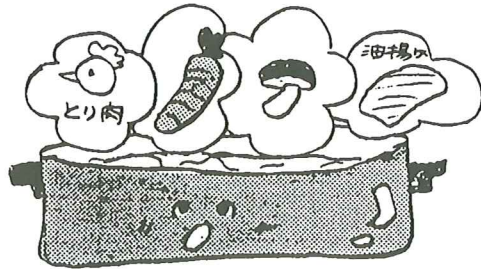
1

にんじん、しいたけはせん切りにする。
 油揚げは、熱湯をかけ、油ぬきしてせん切りにする。
 鶏肉は、薄くそぎ切りにする。



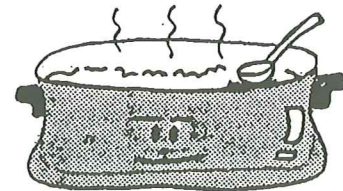
2

牛乳を火にかけて、沸騰する前に弱火にして、鶏肉、にんじん、しいたけ、油揚げを川貝に入れる。



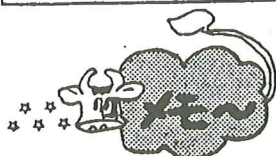
3

材料がやわらかくなったらおからを入れ、正油、砂糖を加えて焦げないようにかき混ぜながら煮る。



4

でき上がったら器にもる。



牛乳を沸かしてできる膜は? *

牛乳を鍋に入れて沸かすと薄い膜ができるのは、「ラムスデン現象」と言って、牛乳の表面の水分子が蒸発することで、空気と牛乳の液との境界面にたんぱく質の濃縮凝固が起こり、同時に牛乳中に分散していた脂肪や乳糖が凝固したたんぱく質に結合して膜(皮膜)になります。

議案

1. 出資金の減口・譲渡及び組合員資格の変動について
2. 外部出資の増口について
3. 組合員規程の一部改正について
4. 不祥事対応要領の一部改正について
5. 生活クラブ連合援農体験の実施について
6. 固定資産の取得について
7. 平成23営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
8. 平成23営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
9. 平成23営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
10. クミカン取引名義変更について
11. 農畜産業機械等支援リース事業の実施について
12. 農畜産業機械等支援リース事業の事業実施主体応募申請について
13. 平成24営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び限度額の認定について
14. 平成24営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
15. 平成24営農年度クミカン暫定取引について

報告事項

1. 組合員加入について
2. 組合員の脱退予告について
3. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
4. 東日本大震災対応にかかるJAバンク基本方針の変更について
5. 組合員勘定制度取引事務手続等の一部改正について
6. 平成23年度JA農業経営緊急支援資金の対応について
7. 平成23年度11月末営農生産関連実績について
8. 平成23年度集荷路線除雪について
9. 平成23年度みらい塾修了式並びに平成24年度開講式の開式について
10. 購買事業関連報告について

議案

1. 出資金の減口及び組合員資格の変動について
2. コンプライアスマニュアルの一部改訂について
3. 役員責任調査委員会設置要領の制定について
4. 株式会社の株式取得について
5. 平成23年度大家畜特別支援資金への借換について
6. 平成23年度大家畜特別支援資金貸付に係る条件緩和について
7. 平成24営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
8. 平成24営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
9. 平成24営農年度クミカン暫定取引について

報告事項

1. 組合員の任意脱退について
2. 平成23年度12月末財務状況について
3. 平成23年度12月末購買事業実績について
4. 配合飼料特別対策の実施について
5. 根室管内JA合同年末貯金キャンペーンJAバンク2011ラストWチャンスキャンペーンの実績について
6. 総体的なリスク量管理について
7. 平成23年度12月末営農生産関連実績について
8. 平成23営農年度クミカン精算状況について
9. 平成24営農年度階層区分について

3月は道税の 納税推進強調月間です

道税の納め忘れはありませんか？根室振興局では、3月を納税推進強調月間として、財産の差押えなどの滞納処分に積極的に取り組み、滞納整理の促進に努めます。皆さんの暮らしを支える道税の納税にご協力ください。

●問い合わせ先

納税に関するご相談は、
根室振興局地域政策部
税務課納税係
(0153)24-5466
(納税係直通)

組合員の
皆さまへ

JA北海道厚生連札幌厚生病院から

人間ドック受診の宿泊サービスのご案内

このたび、遠方より当院人間ドックをご利用いただく方の為の宿泊サービスを開始致しました。ご家族方ともども、この機会に是非、札幌厚生病院で人間ドックを受診いただき、みなさまの健康管理にお役立てください。

- 1. サービス内容**…3・4・5月は札幌厚生病院にて宿泊料金を全額負担致します。
※上記以外の月については、一部ご負担いただきます。
※お食事代金等は含まれておりません。
- 2. 対象となる宿泊**…札幌厚生病院にて人間ドックを受診いただく方の前泊1日分
- 3. 宿泊先**……
○ホテルオークラサッポロ(中央区北2条東3丁目)
○札幌全日空ホテル(中央区北3条西1丁目)
○ニューオータニイン札幌(中央区北2条西1丁目)
※宿泊先は申込日より上記3施設の中から当方にて振分致します。

申込・問い合わせ先……TEL76-2241

JA中春別 人間ドック担当

JA 配置薬の ご案内

30袋入り

血糖値が気になり始めた方に!

食物繊維入りほうじ茶

ユピテル

毎日飲んでも飽きない、おいしいほうじ茶に
仕上げました!

製品のお求めはお近くの
JA配置薬推進員まで連絡願います。
東出 敏緒 ☎0153-78-2930

特定保健用食品

(消費者庁許可、保健機能食品)

食生活は、主食、主菜、副食を基本に、
食事のバランスを。家族の健康を見守る安心飲料としてご活用ください。

商品の特徴

糖の吸収をおだやかにする難消化性デキストリン(食物繊維)を配合したほうじ茶です。食後に血糖値が急激に上昇するのをやさしく抑えます。
溶かして飲む粉末タイプなので、1人分からでも簡単に作って飲んで頂くことができます。また、1回分が小分けになっているので、外出先のお供にも便利です。

こんな方におすすめ

- ・暴飲暴食をしがち
- ・食後の血糖値が高い
- ・健康診断で成人病について指導を受けた

12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分			763.219		31.08	30.06	1.02
無脂乳固形分			481.375		42.48	41.22	1.26
補給金			4.7285		4.73	4.45	0.28
計画チーズ奨励金							
乳質 単価	生菌数	ランク1	2	309,171,675.9kg	3.75	3.74	0.01
		ランク2	0	5,560,045.3kg			
		ランク3	-3	171,777.0kg			
	体細胞数	ランク1	2	273,245,914.6kg			
		ランク2	1	22,510,388.9kg			
		ランク3	-2	3,618,959.2kg			
合計					82.04	79.47	2.57

12月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	31円08銭	
無脂乳固形分②	42円48銭	
補給金③	4円73銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.07%
	農協	4.15%
無脂固形分率	全道	8.83%
	農協	8.80%
成分乳価	全道	78円29銭
①+②+③+④=⑤	農協	78円78銭
乳質乳価⑥	全道	3円75銭
	農協	3円86銭
乳代合計	全道	82円04銭
	農協	82円64銭
⑤+⑥	差異	60銭



楽しい家族と一緒に

とうじろう 小湊さん家の桃次郎くん・クロくん

猫♂(雑種)4カ月

♂(コッカースパニエル)2才

中春別地区・小湊 均さん家

★飼い始めたきっかけ

桃次郎は牛舎のロールに子猫が2匹いたのが出会い。そのうちの1匹を捕まえて連れて帰ったのが桃次郎です。クロは均さんのお兄さんが連れてきて置き去りにしていったので。

★名前の由来

桃次郎は「桃」という字をつけたかったがオスだったため次郎をつけました。クロは真っ黒なのでクロ。

★好きなこと(もの)はなんですか？

桃次郎は黄色の猫じゃらしが好き。目が回るまで遊んでふらふらになってしまいます。クロは家の敷地内を散歩。

★PR

桃次郎はいつもはお気に入りの毛布の上で寝ています。人懐こく飼い主に甘え上手な猫ちゃんです。クロは雪を食べて雪だらけになっていますがご飯の前には「お手」「おかわり」「待て」を必ずするお利口さんです。

編集後記

▼新年を迎え早一カ月が過ぎました。日が昇る時間はだんだんと早くなつていきますが、寒さが厳しい時期となりました。節分が過ぎ、立春となりましたが春はまだまだ先のように感じます。やっぱり北海道の冬は長いですね。今年も猛威をふるっているインフルエンザにかかってしまった方も多く、これからも手洗いうがいには徹底し、マスクを着用するなど予防に努めてほしいと思います。▼さて、今月は予告にもあるように森崎博之のめぐり王国北海道が中春別にやってきました。収録がこれからということもあり内容も詳しくお話できませんがこの地域のいい所が全道各地に発信されればと思います。時間的にきびしいかたもいるとは思いますが都合つく方はぜひご覧になってください。

「森崎博之のめぐり王国 北海道」

HBC北海道放送
放送予定日 2月25日(土)
17:00~17:30

森崎博之、佐々木佑花、めぐりっ子隊が中春別を訪問し、酪農家・人工授精師・獣医など酪農に携わる仕事や農協の乳ぼた餃子、女性部のミルク豚汁を紹介します。

アドレス <http://www.ja-nks.jp>